

市政に対する

一般質問



各質問議員の
QRコードからは、
それぞれの一般質問の
動画をご覧ください。



佐々木 重信 議員

- 市政についての市長の考えは
- 市長に関わる政治団体について
- 市長は、市民に寄り添った行政を行っているのか



一般質問はこちら

二宮地区への スマートインターチェンジについて

質問

二宮地区へのインターチェンジ整備に取り組み始めたことは大変嬉しいこととあります。この発想をグレードアップし、車の乗り下りだけでなく、いちごをはじめとした農産物から、工場で作られる商品までを販売し、さらに真岡の自然や歴史、文化を売り込むような総合的なインターチェンジの整備をしてはどうか伺います。

答弁

本市には、久下田地内の国道294号沿いに「道の駅にのみや」が整備されており、日本一のいちごをはじめとした地元野菜の販売など大変好評であることから、スマートインターチェンジと合わせた道の駅の整備については考えておりませんが、引き続き、県や国、関係機関との協議を行いながら、スマートインターチェンジの設置の実現に向けた検討を進めてまいります。



七海 朱美 議員

- 小中学校の生活環境対策について
- 真岡井頭温泉について
- 市制施行70周年の今後行われるイベントについて
- 防災計画について
- 久保講堂について



一般質問はこちら

小中学校の体育館にエアコン設置を

質問

市内小中学校では、令和6年の夏の異常な暑さに対応するため、授業の時間帯変更や、ほかの授業に代替するなどの工夫が行われましたが、教員不足などから、思うように対応できない状況にあります。冷房効率、断熱工事の必要性などの課題があるとのことですが、断熱工事を行わずとも冷房効果が得られる事例がありますので、速やかに体育館のエアコン設置を進めて頂きたいと思いますが、お考えを伺います。

答弁

市内小中学校の体育館へのエアコン設置につきましては、機器の選定や設置方法などの課題について、調査を進めているところです。

今後、昨今の異常気象の現状を考慮し、これらの課題を十分精査した上で、設置に向け検討していきます。



星野 守 議員

- 農業行政について
- 文化財について
- 教員の働き方改革について
- 英語教育について



一般質問はこちら

地域計画の策定の進捗状況は

質問

農業従事者の減少が急激に進む中、農地を継続して適切に利用していくためには農地の集約化に向けた取り組みが喫緊の課題です。

地域農業の在り方を示した「人・農地プラン」は「地域計画」に名称が変わり、「目標地図」の作成が新たに義務付けられました。

令和7年3月末までに「地域計画」策定を目指すところですが、進捗状況を伺います。

答弁

地域計画の策定にあたっては、市内を小学校区単位の14地域に分け、その地域ごとに令和6年6月から7月にかけて、各地域1回の話し合いを実施しました。担い手農家を中心に、現状や課題、将来の在り方、さらに、今後誰がどこを耕作していくのか、などについて話し合ったところです。

現在は、令和7年3月の公表に向け、14地域の意見の取りまとめを行い、将来の担い手を示した目標地図の素案を作成しているところです。



久保田 武 議員

- 複合交流拠点施設「monaca」開館後の周辺エリアの活性化について
- まちづくり拠点「コレカラ」について
- 中心市街地リノベーション事業について
- 中学生御輿について
- 郷土愛やシビックプライドの醸成への取り組みについて



一般質問はこちら

台町地区の早期事業化 検討路線の計画について

質問

台町地区には、早期事業化検討路線としてすでに整備を進めているときわ町通り以外にも、車が入れない、すれ違えない、また、歩道がないなど、狭く危険な道路がたくさんあります。

早期事業化検討路線として3路線を順次、整備していくとのことですが、ときわ町通り以外の2路線の今後の計画について伺います。

答弁

台町地区における中心市街地リノベーション事業は、平成29年度から、「台町まちづくり検討委員会」と協議を重ね、早期事業化検討路線3路線を選定しました。ときわ町通り以外の2路線については、都市計画道路との重複や隣接地権者の用地協力などの課題もあることから、ときわ町通りの進捗にあわせ、引き続き、課題の整理や地域同意の取りまとめなど、「台町まちづくり検討委員会」と協議を進めてまいります。



荒川 洋子 議員

- 脱炭素へ学校の断熱改修について
- 消防団機能別団員制度の導入と女性消防団員の組織強化について
- 災害時の協力井戸登録制度について
- 子育て支援の対応策について



一般質問はこちら

災害時の 協力井戸登録制度について

質問

大規模災害時、断水の対応策として水源確保の代替手段に井戸が有効活用されています。

本市に於いても井戸を台帳で管理する等、地域防災力向上の観点から協力井戸登録制度を過去に導入しておりますが、現状と今後の方法性について伺います。



答弁

災害時の協力井戸登録制度は、大規模な災害などにより、生活水の供給不足が想定されるため、各自治会において、地域住民等の生活水の確保を目的に、平成24年度から実施しており、現在、671件の協力井戸が登録されております。

引き続き、追加登録を呼びかけるとともに、井戸の使用可否の再確認や、協力井戸の存在、場所等について、地域内での情報共有を各自治会にお願いしていきます。



大隈 広郷 議員

- 不登校対策について
- 小中学校の施設老朽化対策について
- 主権者教育について
- 学校給食について



一般質問はこちら

小中学校の「お弁当の日」の継続を

質問

真岡市では栃木県内で唯一、小中学校で月1回「お弁当の日」を導入しています。ご家庭の味を知り、「感謝」が伝わる食育として良い取り組みだと思います。

ご家庭からは月一回は大変だとの声もありますが、まごころが伝わる道徳的観点からも続けてもらいたいと思います。真岡市のご所見を伺います。

答弁

子どもたちの健全な心や体の成長には、家族との絆を深めることが大切です。身近な食であるお弁当を通じて、親子のふれあいや感謝の心を育むことがお弁当の日の目的でもあります。

今後ご家族の方々のご理解・ご協力をいただきながら、お弁当の日を続けていきたいと考えています。



上原 チョー 議員

- リトルベビー支援について
- 猫の過剰繁殖防止対策について
- 交通環境整備について



一般質問はこちら

L R Tに関する需要調査の進捗状況は

質問

令和5年8月26日に誕生したJ R 宇都宮駅東口から芳賀町までを結ぶ次世代型路面電車「L R T」は、開業から約1年2ヶ月で利用者数が約500万人を突破しています。

近隣住民や通勤通学での利用者、観光客の皆さんにも愛され利用が定着してきている事が明白ですが、真岡市地域公共交通計画における芳賀・宇都宮L R T清原トランジットセンターへのバス路線接続の需要調査の進捗状況について伺います。

答弁

令和6年12月に、アンケート調査票の発送を行い、令和6年度中に、調査結果の分析を行う予定です。

その後は、この調査結果の分析に基づき、運行の必要性などについて、交通事業者、関東運輸局栃木運輸支局や真岡警察署等の行政機関、自治会や老人クラブ等の代表者などで構成している「真岡市地域公共交通活性化協議会」において協議していきます。



中村 和彦 議員

- 人口減少時代における取組について
- 産業分野の諸課題について
- N H K大河ドラマの誘致活動について
- 教育分野の諸課題について



一般質問はこちら

二宮尊徳翁を題材とした N H K大河ドラマの誘致活動を

質問

哲学者の森信三氏は生前「日本は2025年に立ち上がるであろう。しかし、その再起再生の原動力になるのは、二宮尊徳の教えに基づくほかない」と語っていました。

二宮尊徳翁を題材とした大河ドラマの誘致活動については「全国報徳研究市町村協議会」において、N H Kに要望書を提出してきましたが、2025年を機に誘致活動や真岡市民の意識高揚につながる取組をより積極的に展開してはいかがでしょうか。

答弁

「全国報徳研究市町村協議会」において、掛川市、小田原市、日光市、南相馬市、本市の5つの市で組織された「二宮尊徳N H K大河ドラマ化推進委員会」が中心となり、誘致活動を進めています。

令和6年は、本市からN H K宇都宮放送局に対し、大河ドラマ等の制作についての要望書を提出しました。

今後も、二宮尊徳翁を描く大河ドラマ等の制作については、協議会と連携し、要望していきます。

※全国報徳研究市町村協議会…二宮尊徳翁ゆかりの17市町村で組織する協議会



添野 郁 議員

- 絆をつなぐ地域づくり事業について
- 工業の振興について
- 働き方改革について
- 教育行政について
- 学校給食センターの整備について



一般質問はこちら

スクールバス運行の見直しを

質問

本市のスクールバスは、統合になった学校を対象に運行しており、平成30年の統廃合から7年が経過し、統合当時の児童は卒業しています。

特に中村地区においては、市道113号線が開通するなど、道路環境や通学環境も大きく変化しています。

このような状況を踏まえ、通学環境を総合的に判断するなど、スクールバスの運行を、全体的に見直す時期に来ていると思いますが、どのように考えているのか、伺います。

答弁

現在、本市のスクールバスについては、統合によりこれまで通っていた学校に通えなくなってしまう学区の児童を対象に運行しています。

山前小学校、中村小学校が統合して7年が経過しており、学校に行った通学距離調査によると、スクールバスでの通学児童より長い距離を歩いて通学している児童が複数確認されていますので、今後のスクールバスの在り方については、市全体として総合的に検討していきます。



飯塚 正 議員

- 国民健康保険証について
- 所得税の103万円の壁について
- 会計年度任用職員の再任用について
- 市営墓地について
- 道路管理について
- 真岡鉄道について



一般質問はこちら

「103万円の壁」を 引き上げた場合の市民税は

質問

所得税対策のため、年収が103万円を超えないように働く時間数を制限することを「103万円の壁」といいます。

「所得税の課税最低限」103万円から178万円に引き上げた場合、真岡市として市民税はいくら減収になるのか伺います。



答弁

年収103万円の壁について、仮に基礎控除額を75万円引上げ、非課税限度額を178万円とした場合、本市としては約15億3,000万円の市民税が減収となることが見込まれます。これは、令和5年度個人市民税調定額の約36%にあたる額です。

基礎控除などの引上げ幅や所得制限の有無などについては、今後、2025年度税制改正大綱が決定し、制度設計が示されましたら、市税条例改正等も含め、適切に対応していきます。

常任委員会の審査から

常任委員会で審査した議案等について、主なものの概要を掲載します。

総務 常任委員会

議案第90号 市有財産の貸付について

質疑 旧中村南小学校の利活用について、会社のオフィスとして経済活動するほか、シェアオフィスとして運営していくのが特徴的であるが、この家賃収入についてはどのような取扱いになるのか。

答弁 シェアオフィスの賃貸料については、事業者の収入となる。

⇒全会一致で可決

民生文教 常任委員会

議案第84号 真岡市青年女性会館の設置、管理及び使用条例等の一部改正について

質疑 会議室の貸し出しが1時間単位になると、従来の時間帯ごとの料金体系と比べて、使用料が高くなることもあるのか。

答弁 時間貸しを導入することで、場合によっては従来の料金体系より高くなることもあるが、実際に使用した時間分だけ料金を支払うため、2時間程度の会議なら割安になる。また、夜間の割増料金が廃止されるため、夜間の使用料が安くなる。

⇒全会一致で可決

産業建設 常任委員会

議案第87号 指定管理者の指定について

質疑 営業時間は指定管理者が自由に変更できるのか。

答弁 真岡市と協議の上、変更は可能である。現時点では午前11時から午後5時の営業を予定している。

⇒全会一致で可決